

かや たか ゆきの ほうれんそう

愛川町議会議員

第4号

議会の報告

後援会の連絡

皆様からの相談



消防団は「まちの英雄」であれ！

私は20歳で消防団に入団して様々なことを学びました。自分さえ良ければよい！という考えしかなかった私を消防団活動を通じ「地域があって私がいる」「地域に育てて頂いた」という考えに変えてくれました。この消防団での活動が原点となり、自分の暮らす街をもっと良いまちにしたい！と想い、議員を目指した経緯があります。「町を想うひと」を育てる事も消防団の大切な役割だと感じます。なので、今後の消防団の活躍が愛川町をより素晴らしい町にするものと考えて一般質問をしました！

現在の消防団は、火災に加えて大規模災害への活動が増えています。現在は大型台風などの大型災害にも対応できる幅の広い活動が求められている「転換期」にきています。そこで、これからの町を守る消防団の活動を町全体で支えるためにも、未来を見据えた新たな消防団の組織づくりが必要であると考えます。

未来を見据えた消防団の活動について

これからの消防団には、今までの火災での出動に加え、大型化した台風や大地震などの災害活動が加えられています。記憶に新しい、令和元年10月の台風19号では、水害の恐れがある為に多くの町民が体育館等の避難所に避難をしました。愛川町には中津川と相模川が流れています。この事を踏まえ、各団にはボートを常備し、全団員には床上浸水等の大型台風を想定した避難誘導からボートによる救出等の今まで以上のレベルに対応した水防訓練をする必要があります。

火災や災害時には卒団したOBを実働部隊にしよう！

火災等の災害が起きた時は、消防団器具舎にある消防車には3名の団員が乗車しなければ出動ができません。現在の状況では自営業者や町内で仕事をする団員が減り、火災が発生しても3名が集まるのに時間がかかり、直ぐに出動できないのが現状です。なので、この事を解決する為に、部を卒団しても器具舎近くに常勤している経験豊富で意欲のあるOBの1名~2名を2014年に設立された消防団支援隊の中に「災害に特化した実働部隊」という枠を新しく設立して、火災や水害の時だけ出動する災害支援隊員として新たに作りたいと考えます。これにより、火災や水害時には直ぐに出動できるようになり、今までの火災や災害などの豊富な経験を現役団員に継承できるという素晴らしいメリットが出てきます。町民の「生命」と「財産」と「安心」を守る続ける為にも、これからの次世代を見据えた新たな消防団と支援隊の体制を整えて行きたいと思えます。

自分の町を想う消防団員を増やすためには？

消防団の役割は、火災等の災害の時に出動するだけではなく、「自分の町を守りたい！」と想う人を育てる役割もあります。なので、自分の町を守りたいと想う消防団員が増えれば、自ずと良い町になってきます。現在の社会情勢で団員の減少に歯止めが利きません。まず、団員を増やすには環境を整えることが必要です。なので勤め先の企業には理解が必要で、企業としても消防団の社員がいるという「まちづくり」に協力が出来ているという社会貢献の認識が必要であると考えます。そこで「消防団協力事業所の減税制度」を町独自で行い、消防団員がいる企業には減税がされるメリットを生み、企業としても「町を想うひと」を育てるといった役割を担ってもらえる環境を整備して参ります。



部長時代 子ども達とふれあいレクリエーション会場にて

愛川町消防団 団員歴

- 1993年 第3分団第3部 入団 (20歳)
- 2002年 第3分団第3部 部長就任 (29歳)
- 2004年 卒団 3-3OB会長 就任 (31歳)
- 卒団後支援隊の設立メンバーとして準備を始める
- 2014年 愛川町消防団支援隊設立 (40歳)
- 現在は、3-3OB会長と愛川町消防団支援隊の隊員として現役消防団を支え、20歳から46歳の26年間消防団に関わる活動をする。

顔の見える政治を目指して！

私は町民の皆さんに政治を身近に感じて頂き、町民の声をダイレクトに町政に届けられる議員を目指しています。町民の皆さんに「顔が見える政治活動」として、毎週火曜日に一本松交差点にて朝のご挨拶をしていますので、是非お気軽に声をかけてください。



半原ワサビの最新情報



ワサビ生産量 日本一の大王ワサビ農園の視察

半原ワサビを実現化するためには、まず日本一の所から勉強して技を盗み、越える為のアイデアを思い浮かべてみます。生産量などでは環境によって敵わないと思いますが、ワサビを使ったまちづくりには無限の可能性があると考えます。私は二番煎じが嫌いですが、新たなワサビ分野で日本一にするために、勉強をしていきたいと思えます。ワサビ仙人にもお話が聞けて、ワサビ田の作り方や生産量日本一の理由、まちづくりへの繋げ方、観光への繋げ方、飲食への繋げ方など、沢山の学びがありました。これをステップに「半原ワサビ」を盛り上げて行きたいと思えます！

半原ワサビプロジェクトは、日本のワサビの原種であり、半原地区で100年の歴史を持つ「半原ワサビ」の文化と歴史を守り、今後のまちづくりの武器としてシティーセールスに繋げるために、多くの協力者で2020年9月からスタートさせたプロジェクトです。

かや たかゆきの活動報告 9月～12月



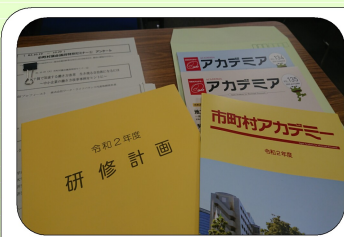
消防団第3分団第3部のOB会長として、後輩の現役団員に、基礎訓練から実際の火災を想定した訓練の指導を行いました。



ICT化に向けて、厚木市議会に視察に行きました。市民に対してどのように効率化されたのか等、勉強になりました。



愛川町青少年指導員で、子ども達へ指導をすすめる、指導者研修を受けてきました。



これから町の活性化のために、今後の政治の行方・開かれた議会・地域づくりの重要性・働き方改革について学んできました。



所管事務調査を行い、令和元年度の予算が適切に使われているのかを現場に確認しました。



中学校で新しく始まった温かい親子式給食を食べてきました。美味しくかったです！



母校である中津小学校の運動会前の除草作業に参加しました。綺麗な校庭で、思いっきり動き回って欲しいですね。



9月議会の一般質問で行った、海底和紙でお世話になっている愛川繊維会館さんに経過のご報告と、これからの打ち合わせを行いました。

「八菅山 令和の広場」構想スタート

地域からの住民提案型 ボトムアップ事業

地域の皆様から新たなまちづくりを推進するために八菅橋 令和の広場 推進協議会が中津小学校区（下谷八菅山・二井坂・熊坂・桜台・半縄・坂本・桜台団地）の7行政区とあいちゃん商店会（中津・中津中央支部）、中津小学校関係者で7月30日に設立され、令和5年度の第6次愛川町総合計画に盛り込み、構想を実現させるために頑張っています。私も地元の町議会議員であり、相談役として行政との懸け橋を頑張っています。

新たな希望をみんなで作ろう！

八菅橋付近には八菅神社や山十郎などの歴史的な文化財があり、近年では河川敷でのキャンプを始め、鮎釣りやお祭りなど、季節ごとに大きく賑わいます。そんな観光資源を有機的に発展させ、子ども達に文化と歴史を継承して行くために、美しい山河の風景である八菅橋周辺地域に新たな「令和の広場」構想を掲げ、今後の世界的なコロナ禍による価値観、生活の形態が大きく変わる中、ワーケーション環境の整備などの次世代を見据えた新たなまちづくりを行っていきます。



具体的な整備計画

- A、イベント広場 ・ お祭り・伝統行事・イベントなどの開催場所
- B、川の広場 ・ 新規に高台を作り、川の活動の多様性を図る場所
- C、出会いマルシェ ・ マルシェなど地域物産市場などのスペース
- D、いこいのサークル ・ 令和の広場のシンボルの塔&サークル
- E、おいしい水「水源地」 ・ 愛川町の美味しい地下水の発信基地
- F、しょうぶ園・令和の梅林 ・ 下谷地区の菖蒲の里や梅林を取込む
- G、棚田・観光農園 ・ 棚田や花畑を作り、子ども達の体験場所
- H、あそびの丘 ・ 芝生の丘として遊具設置。いこいの森とリンク
- I、臥龍展望台 ・ 日本書紀の日本武尊の美しさを体験する展望台
- J、中津村役場後 ・ 歴史を残し、令和の広場を一望できる場所

愛川町へ要望中 ～暮らしでお困りならご相談ください～

愛川町での暮らしにお困りなことや要望がありましたら、何でもかや たかゆきにご相談ください！内容をお聞きして、町の担当課とかや たかゆきが話し合い、解決に向けて迅速・全力で取り組んで参ります！！

現在の要望

第1号公園トレーニングルームの設備の充実（茅→町）
愛川町は「町民みなスポーツの町」宣言をしているので、スポーツの基礎であるトレーニングをしっかりと出来る環境を作るために、トレーニングルームの施設やマシンの設備の充実を要望しています。（選挙公約）

この事が健康寿命への意識向上に繋がったり、学生には部活などの補助としてプロスポーツへのきっかけとなったり、若者から中高年では、遠方のジムに通わなくても良くなり、経済的にも負担が少なくなります。

ボランティア歴・経歴

茅 孝之 46歳 無所属 1期目
 愛川町消防団第3分団第3部 元部長
 二井坂区自治会 元 庶務
 愛川町社会教育委員 委員
 愛川町子ども会連絡協議会 理事
 愛川町青少年指導員 指導員
 愛川町消防団支援隊 隊員
 中津小学校子ども会連絡協議会 理事
 愛川町消防団3分団3部 OB会 会長
 県立愛川高校 明日楓会 元 運営委員
 あいかわ町災害ボランティアネットワーク 賛助会員
 NPO法人 防犯パトロール ブルーライン 賛助会員
 座間自衛隊愛川協力会 会員

経 歴
 厚木青年会議所 第46代理事長
 あいちゃん商店会 初代会長
 中津中央商店会 元 会長
 愛甲商工会青年部 元 委員長

編集後記

本年はハウレンソウをお読み頂きまして、誠にありがとうございました。今年には新型コロナウイルス感染症で大変な一年になりました。まだまだ、これから新しい生活様式として厳しい時代に突入すると感じます。そんなコロナ禍ですが、大人達が大きな夢を見る「令和の広場構想」が始まりました。子ども達に立派な背中を見せられる大人として頑張り、文化と歴史の継承や郷土愛を育てあげられる町議会議員でありたいと思います。

